

◆主要ニュース◆

- 全協・全国政治連盟の2025年度事業計画……………2面
- 2024年度第3四半期たばこ販売実績/「キャメルクラブ」全18銘柄5月1日に定価改定/JT情報……………3面
- 「知って得する商売解禁の法則」/2024年度20歳未満喫煙防止協議会開催状況/トピックス……………4面
- 東京都連合会の女性部研修会/愛煙者様へ/たばことの出会い……………5面
- 話題:浜松組合の石原理事がラジオ番組に出演/全組合員に「喫煙マナーポスター」配布/新型自販機組合員限定販売……………6面
- 先人の言葉@おもしろクイズ/江戸の世を彩る川柳評語/投稿……………7面
- 投稿:「楽しく抽いたこと」/「今、昔も新たな」姫路組合/手作りPOP講座……………8面

全国たばこ新聞

2025年4月 April第948号

発行元/全国たばこ販売協同組合連合会
〒105-0014 東京都港区芝1丁目6番10号
芝SIAビル7階 TEL.03(5476)7551

企画編集責任/株式会社アーネスト
〒105-0004 東京都港区新橋6-9-2
新橋第一ビル TEL.03(3432)8346



左から小柴文男・埼玉東組理事長、成海世時・越谷市たばこ販売促進委員会会長、福田晃・越谷市長、斎藤晃一・同促進委員会会長、南越谷一丁目自治会長ら自治会、商店会代表のみなさん

越谷市に喫煙所新設の要望書を提出

地元の自治会、商店会と協働して市長に要望書と協働して小柴文男理事長と越谷市たばこ販売促進会(成海世時会長)は1月31日に越谷市内2地区の自治会、2地区の商店会と一緒に福田晃越谷市長と面談し、南越谷新越谷エリアにたばこ税を活用した「閉鎖型公衆喫煙所」(以下、公衆喫煙所)の新規設置を求め、要望書を手交した。

骨子は①南越谷エリアを第一弾とした公衆喫煙所の新規設置②公衆喫煙所の整備

埼玉東組が自治会・商店会と協働

越谷市内での公衆喫煙所の新規設置を、また2024年2月には前述の自治会と商店会も公衆喫煙所の設置を個別に要望した。しかし、1年以上経過しても「目に見える形での具体的な進展がない」とことから、今回6団体が連

携して市に再考を促したものだ。たばこ組合は「喫煙者や非喫煙者の共存社会を築くため、自治会・商店会の美化」、自治会・商店会は「地域の活性化と魅力ある街づくり」という共通する目的の実現に向けて分煙環境整備の早期実施を訴えた。今後、市側と更に協議を進めていくことにしている。

なお、埼玉東組と三郷市たばこ販売促進会(小柴文男会長)は1月27日、越谷市と同様に三郷市の自治会と商店会と協働して同市の木津雅哉市長に公衆喫煙所新規設置の要望書を提出した。

佐世保組合の成果事例

JR佐世保駅東口に新たな喫煙所を設置

長崎県の佐世保組合(橋本良平理事長)では2月15日、JR佐世保駅東口に新たな喫煙所の供用を開始した。この喫煙所は、佐世保市の令和6年度たばこ税約20億円のうち、約1250万円を活用して設置されたもの。

▼市条例の一部改正
同市ではこれまで、市内アーケードを禁煙エリアとする代わりに近隣の京町公園、島瀬公園、松浦公園の3カ所に喫煙所を設置していたが、



JR佐世保駅東口に新設された喫煙所。円内は橋本良平理事長
2m×幅6m

その結果、駅周辺をこみ散乱防止区域に指定したところ、23年の総務促進による分煙施設整備促進についての発出を、気運にJTとも協働し、「大勢が行き交う駅周辺に喫煙所を」との交渉を市と進めてきた。

2019年以降、クレームの多さから撤去が進み、現在では京町公園の一角のみとなっていた。駅前ではレストラン等に私設喫煙所が設置されていたが同様に撤去が進んだことから、同組合では組合顧問でもある地元の市岡博道市議員等と相談を寄せていたところ、23年の総務促進による分煙施設整備促進についての発出を、気運にJTとも協働し、「大勢が行き交う駅周辺に喫煙所を」との交渉を市と進めてきた。

「分煙環境整備」要望活動組合の直近取り組み2例

全国の組合は「たばこ税を活用した分煙環境整備」要望活動を繰り返し続けているが、その中で、粘り強い働きかけで成果をあげた事例と、自治会・商店会と協働した新たな取り組みを行った直近の活動2例を紹介する。

その結果、駅周辺をこみ散乱防止区域に指定したところ、23年の総務促進による分煙施設整備促進についての発出を、気運にJTとも協働し、「大勢が行き交う駅周辺に喫煙所を」との交渉を市と進めてきた。

「分煙環境整備」の総活動実績2032件 たばこ組合、たばこ耕作団体、JT等による自治体への「たばこ税を活用した分煙環境整備」の要望総活動実績は、全協調べによると2月13日現在の集計で2千件を超え2032件となった。ほぼ1年前の昨年の3月8日現在と比較すると、総数は223件増で、連合会別では東北連合会、福島県連合会が40件を超えているのが目立つ。活動の内訳をみると、「首長接見」が442件(57件増)、行政・議会との情報交換など「その他活動」が688件(92件増)。また、自治体への「要望書提出等」538件(63件増)、議会への「陳情書等提出」は364件(11件増)となっており、組織をあげた取り組みが数字に表れている。

で、清掃は市の土木課が担当し、組合でも月2回の清掃活動時にチェックを行う。

▼40年続く「協議会」
同組合では、市と組合のメンバーで構成する「佐世保たばこ事業協議会(橋本良平会長)を立ち上げ、佐世保市長を顧問として定期的な会合を約40年以上続けている。橋本理事長は「同協議会等を通じて長い付き合いがあってこそ設置だと思いません。今後、たばこ税を活用した旨のPOPや、駅から喫煙所までの導線案内も表示する予定であり、公園の喫煙所復活に向けた活動も進めていきます」と話している。

2段広告

全協

2025年度事業計画(骨子)

全協の臨時総会で2025年度事業計画が決定された。事業計画では、たばこ市場は、高齢化の進展や若者のたばこ離れによる喫煙者率の低下、健康増進法に係る各種喫煙規制の強化、度重なるたばこ税の増税や加熱式たばこの台頭などにより、市場が減少傾向にある中、紙巻たばこのシェア減少傾向などの影響や、大資本を背景とした企業系小売業の出店増という現状のもとにある。

中小零細な事業者の組織である「たばこ組合」と

組合員のための活動

● 新型たばこ自販機の販売・設置と既存自販機の改作及び撤去・処分対応支援
(タスポ終了後の自販機販路の確保)
一昨年度に開発を行った「新硬貨、新紙幣、マイナンバーカード・運転免許証の成人識別装置」を搭載した新型たばこ自販機の販売・設置、ならびに、既存自販機における改作に対する各種支援、及び既存自販機における法令等を遵守した撤去・処分に係る各種支援を行う。

● 座談会・各種会議への支援・サポート
組合組織の統合等を推進する中で、今まで以上に重要になる組合員の情報交換とコミュニケーションの強化のため、支援・サポートを行う。

● 対面販売の強化
タスポ終了に伴う対面販売の更なる活性化のためのサポートを実施。

● 各種ツール支援・情報等の発信

社会貢献のための活動

● 20歳未満喫煙防止活動の徹底
対面販売時での20歳未満喫煙防止対策のより一層の強化を図るため、日本たばこ協会、関係行政機関、関係諸団体との協働による「20歳未満喫煙防止強化月間(7月)」の継続実施。都道府県単位における20歳未満喫煙防止推進協議会、及び街頭イベント継続開催、併せて本施策の改善を検討する。対面販売における20歳未満喫煙防止(「愛の一声運動」など)のより一層の強化を図るとともに、こうした取り組みを社会へ発信、社会的評価向上につなげる。

● 環境美化活動の推進
社会的評価向上に向け、全国各地での活動の継続実施。全国統一美化活動は2025年5月30日～6月5日の予定。参加者の拡大と地元メディア等への働きかけの強化。

● 火災予防キャンペーン活動
日本たばこ協会、消防庁等と協働した「たばこ火災被害低減対策」を継続実施する。

● 喫煙マナー向上の訴求
各種施策等を通じ、通期的な「喫煙マナー向上」の訴求を図る。

愛煙家のための活動

● たばこ税増税反対活動
今後も、「財源確保を盾にした安易な増税議論」「国民の健康の観点をひきあいした、たばこの消費抑制を背景とした増税議論」などが継続的に行われることが予測されるため、引き続き、たばこ税増税議論を注視するとともに、たばこ業界にかかわる組合の代表として、業界および愛煙家の声を社会に訴えるための組織的活動を展開。

● 喫煙規制への取り組み
改正健康増進法の成立を契機に、公共施設だけでなく民間施設やプライベート空間の規制を含めた一律過度な法令制定の議論が拡大している中、共存社会の実現に向け、国政・関係省庁・自治体をはじめとした関係機関等への主体的対話等を積極的に発信、理解・協力を求めていく。なお、2025年以降に「健康増進法」の見直しが見込まれており、これ以上過度な規制導入がなされないよう注視するとともに、適時、各種対応を図っていく。

● 地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する取り組み
たばこ税を活用した分煙環境整備の制度化については、税制改正大綱及び総務省通知文書等を最大限活用し、関係議員、たばこ業界、及び関係団体との協働をより密にした上で、国政関係者・各省庁、地方自治体・地方議会との対話・要望活動を精力的に実施する。

● 喫煙環境整備(喫煙スペース確保)活動の維持・強化
販売店頭等における喫煙スペースの創出は、お客様との接点かつ消費場所として益々重要となっている。引き続き、喫煙スペース確保活動を積極的に推進し、「お客様との接点増大」「消費場所の拡大」を目指し、顧客確保につなげていくこととする。

組織基盤強化に向けた取り組み

- 組織再編計画の推進
- 財政基盤の強化
- 基幹事業の見直し・実行
- 組合員データベース(電子化ツール)の適切な更新と活用
- 女性部活動の活性化
- 組合員の新規勧誘・脱退阻止
- たばこ新聞活用による情報提供の充実
- 全協ホームページの活用による情報発信の拡大

全国たばこ販売政治連盟 2025年度活動計画(骨子)

「たばこ事業法の堅持」とくにたばこ小売販売に係る「許可制度」「定価制度」の維持を常に念頭に置き、たばこ販売業界の健全な発展に資するため、次のような重点項目に取り組む。

- ① 地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する取り組み
税制改正大綱、総務省通知などを最大限活用し、関係議員、たばこ業界、関係団体等との協働をより密にし、国政関係者、各省庁、各地方自治体、地方議会等との対話・要望活動を精力的に実施する。
- ② 過度な喫煙規制阻止に向けた政府与党への働きかけ
自民党に対して、たばこ議員連盟幹部、たばこ特別委員会等との常時の対話を通じ、たばこ業界の安定的発展のため、たばこ事業法(許可制度・定価制度)の堅持をはじめ、国及び地方によるたばこを巡る諸問題、特に過度な喫煙規制の阻止に重点を置いて、J・Tやたばこ耕作組合等関係団体と密に連携の上、主体的活動を実施する。
- ③ 過度な喫煙規制阻止に向けた地方自治体への働きかけ
各地区本部支部が、日頃から首長、関係部門等とのコミュニケーションをとり、過度な喫煙規制阻止に向け、積極的な働きかけを行っていく。
- ④ 更なるたばこ税増税阻止に関する取り組み
今後も、安易なたばこ税増税議論などを注視するとともに、たばこ業界に携わる政治連盟の代表として、愛煙家の声を社会に訴えるための組織的活動を展開していく。
- ⑤ 自民党たばこ議員連盟を中心とした議員等との関係強化
政連本部各地区本部支部において、たばこ理解のある議員や自治体首長等との関係を強化すべく、表敬訪問、陳情活動及び総務省通知等を活用したコミュニケーションを実施すると同時に、地区本部等で実施される会合(総会、役員会等)で情報交換の機会を設ける等、中央、地方の各層での活動を積極的に展開する。
また、たばこ議員連盟の総会等において、各地区本部長等が集結し、関係議員等との関係強化を図るとともに、全国たばこ販売政治連盟の組織力向上意識高揚を図る。
- ⑥ 選挙活動への積極的取り組み
今後も、自民党たばこ議員連盟、及びたばこ理解のある先生方からの支援を維持拡大するために、政連本部各地区本部支部の各組織が「丸」となると、たばこ理解のある自民党候補者への積極的な応援協力を図り、必勝体制で取り組む。その結果として、たばこ販売業界の声をしっかりと国政・地方行政に反映させていく。
- ⑦ 政連会員への積極的な勧誘による組織力、及び活動資金の強化
政治連盟新規会員の勧誘、及び既存会員の政治連盟組織活動等の理解促進に向けた活動を強化する。
- ⑧ 関係議員及び関係諸団体等の関係情報の収集と整備
組織活動をより効果・効率的に遂行する観点から、自民党たばこ議員連盟及び関係議員の情報整備を随時行う。また、関係団体、省庁等とたばこに関する情報意見交換を積極的に図り、関係情報の収集・整備情報網の充実に努める。

2024年度第3四半期累計(4月~12月)

紙巻たばこ上位20銘柄販売実績

(単位:百万本・シェア%)

順位	銘柄	メーカー	数量	シェア	価格(円)	コードNo.
1	セブンスター	JT	2,679	4.2	600	1020
2	セブンスター・ボックス	JT	1,623	2.5	600	1312
③	メビウス・スーパーライト	JT	1,135	1.8	580	1223
④	メビウス・ワン・100's・ボックス	JT	1,112	1.7	580	1343
5	メビウス・エクストラライト	JT	994	1.6	580	1355
6	メビウス・ライト	JT	941	1.5	580	1138
⑦	ラッキー・ストライク・エキスパートカット・6	BATJ	934	1.5	450	2260
⑧	フィリップ・モリス 1 100 ボックス	PMJ	915	1.4	430	4600
⑨	キャメル・クラフト・6・ボックス	JT	912	1.4	430	1113
⑩	メビウス	JT	911	1.4	580	1023
⑪	マール・ボロ・KSボックス	PMJ	870	1.4	600	2921
⑫	メビウス・スーパーライト・100's・ボックス	JT	807	1.3	580	1462
⑬	ケント・エス・シリーズ・1・100・ボックス	BATJ	789	1.2	500	4375
⑭	ケント・1・100・ボックス	BATJ	784	1.2	520	2746
⑮	ウinston・キャスター・ホワイト・ワン・100's・ボックス	JT	763	1.2	540	1334
⑯	キャメル・クラフト・メンソール・ペーパー・カプセル・8・ボックス	JT	710	1.1	430	1116
17	メビウス・エクストラライト・100's・ボックス	JT	671	1.0	580	1329
⑱	キャメル・クラフト・1・100ボックス	JT	667	1.0	430	1174
⑲	ウinston・キャスター・ホワイト・5	JT	648	1.0	540	1200
⑳	メビウス・ワン	JT	614	1.0	580	1372

*シェアは、紙巻たばこ販売全数量に占める割合。*順位は前年度実績に比べて○印はランクアップ、□印はランクダウン銘柄。*コードNo.は、発注書に記載のコードナンバー。

「紙巻」は38億本/5.6%の減少 「加熱式」60億本/13.8%の増加

日本たばこ協会(JTIO)の発表によると2024年度第3四半期累計(4月~12月)たばこ販売実績は、紙巻たばこ(「紙巻」)は64.0億本(前年同期に比べ38億本、5.6%減)、加熱式たばこ(「加熱式」)は49.5億本(同60億本13.8%増)、リトルシガーは18億本(同6億本25%減)である。「加熱式」は13%を超える伸び(同60%減)、「加熱式」は1兆7147億円(同60%減)、「加熱式」は1兆3401億円(同13.1%増)、リトルシガー1436億円(同25.9%減)と、種類別増減は数量に準じた代金となっている。

「紙巻」の上位20銘柄実績 430円の2銘柄が前年度実績を上回る

「紙巻」の売上げ上位20銘柄の販売実績は前年同期に比べ「メビウス・エクストラライト・ボックス」が圏外に去り、「メビウス・ワン」が20位に返り咲いた。前年度実績を上回ったのは430円銘柄(20銘柄)の総数量が5.6%減少していることから18銘柄が前年度実績を下回った。前年度実績を上回ったのは430円銘柄(20銘柄)の内、以下同)の2銘柄。8位の「フィリップ・モリス 1 100 ボックス」が9億1500万本で3.6%の伸び、9位の「キャメル・クラフト・6・ボックス」が4億3401万本で3.4%増、リトルシガー1436億円(同25.9%減)と、種類別増減は数量に準じた代金となっている。

「キャメル・クラフト」全18銘柄 来る5月1日に定価改定を実施 430円↓450円

JTの紙巻たばこ「キャメル・クラフト」の全18銘柄が来る5月1日に小売定価改定(値上げ)が実施されることになった。本紙既報。これは、去る2月3日に財務大臣に小売定価改定の認可申請していたものが、2月28日に認可された。JTの紙巻たばこ「キャメル・クラフト」の全18銘柄は、いずれも20本入り430円(税込み)が450円に値上げされる。「キャメル・クラフト」18銘柄のうち、2024年度第3四半期の上位20銘柄販売実績で3銘柄が9位、16位、18位にランク(別表参照)され、その合計シェアは3.5%を占め、いずれも売上げ上昇中である。定価改定に際しては、お客様に混乱が生じないよう店頭での事前周知が必要となる。なお、インフューズたばこ(加熱式たばこ)の「ウイズ」用たばこカプセル全6銘柄も5月1日に定価が改定され、現在の580円が600円になる。

クラフト・6・ボックス」が9億1200万本で3.4%の伸びを示し、両銘柄は数量、伸び率ともに並行しており、「買い求めやすい価格市場」の牽引役を果たしている。また、18位で同じく430円銘柄の「キャメル・クラフト1」(100ボックス)はほぼ前年度水準で15%の微減となっている。そのほか、前年度比5%減以内で踏みとどまっているのは、「セブンスター」(600円)の27%減、「セブンスター・ボックス」(580円)の24%減である。このセブンスター2銘柄で67%のシェアを占め、国内トップブランドとして長年にわたる人気の根拠を示している。次いで「ラッキー・ストライク・エキスパートカット6」(450円)が40%減である。なお、価格帯別にみると600円が3銘柄、580円が8銘柄、540円が2銘柄、520円、500円、450円が各1銘柄、430円が4銘柄であり、400円台の低価格品は5銘柄である。



MEVIUS 10 ORIGINAL
たばこの煙は、周りの人の健康に悪影響を及ぼします。健康増進法で禁じられている場所では喫煙できません。

「メビウス・エクストラライト」など11銘柄を合わせて17銘柄で、定価は580円。JTでは「桜の季節は人生の節目となる時期。鮮やかに咲く桜のメビウスを手」に「二歩を踏み出してほしい」とコメントしている。

東京都連合会の「2024年度女性部研修会」 「たばこが「煙たがられる」社会の 深層を文化人類学で掘り起こす」



東京都連合会(森岡和夫会長)の「2024年度女性部研修会」が2月20日、東京都市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷(私学)で開催され、傘下5組合の女性部代表79名のほか、組合理事長、役員、JT本社東京支社等の来賓を含め総勢115名が出席。磯野真穂氏(別掲参照)の講演「たばこが「煙たがられる」社会の深層を文化人類学で掘り起こす」を聴講した。



磯野真穂氏

50年ほど前、たばこは当時の人々にどのようなイメージを与えていたのでしょうか。今、たばこは「悪の根源」のように言われていますが、それは何故なのか、について探ってみたいと思います。

「たばこが「煙たがられる」社会の深層を文化人類学で掘り起こす」と題して、磯野真穂氏が講演を行った。講演要旨を、日頃のたばこ販売の行いもの。

研修会に先立ち、東京都連合会の森岡和夫会長が「たばこ販売業界を、たばこ組合を支える大きな柱の一つは女性部です。本日の研修の成果を、日頃のたばこ販売の強化と女性部活動活性化につなげていただきたい」と挨拶。さらに、JT渉外部長の挨拶の後、磯野真穂氏が講演を行った(講演要旨別掲)。

社会的な面などもあり、このように様々な面から多角的にとらえることを象徴的と呼んでいます。

「食べるを象徴的にとらえる」と、様々な価値や意味づけができてきます。この「食べる」をたばこに置き換えて、単に符号的にとらえるのではなく、文化的・社会的・経済的・医学的見地からとらえると、カリオシダの体に良い、悪いといったとらえ方を符号的と呼んできました。しかし、食べるという行為には、歴史的、文化的、

「符号的にとらえるか、象徴的にとらえるか、また、両方合せて考えるか」で価値観などが大きく変わってしまうと思います。しかし、こうしたとらえ方を上手に融合させることが、世の中の見方や日々の生活のあり方が広がる、深みを増してくると思うのですが、どうでしょうか。

愛煙奇縁

21 谷田 有史

幕末から明治維新にかけての激動期の日本において活躍した、いわゆる「維新の志士」にはたばこ好きが多かった。

西郷隆盛(1828-1877)は鹿児島生まれ(国分)たばこを好み、きせるは「アタバイ」とも呼ばれた「阿多張りきせる(阿多きせる)」を用いたという。

この阿多張りきせるは、寛政年間(1789

阿多張りきせるには、雁首と吸口を竹で出来た羅字で繋ぐ羅字きせると、雁首羅字、吸口を一本の真鍮で作る延べきせるがあるが、現地では「延棒」と呼ばれた延べきせるが主流であったようだ。吸口に返しが

阿多張りきせるには、雁首と吸口を竹で出来た羅字で繋ぐ羅字きせると、雁首羅字、吸口を一本の真鍮で作る延べきせるがあるが、現地では「延棒」と呼ばれた延べきせるが主流であったようだ。吸口に返しが

阿多張りきせるには、雁首と吸口を竹で出来た羅字で繋ぐ羅字きせると、雁首羅字、吸口を一本の真鍮で作る延べきせるがあるが、現地では「延棒」と呼ばれた延べきせるが主流であったようだ。吸口に返しが

西郷どんと阿多張りきせる

あつて、たばこのヤが口に入りにくく、何よりも灰抜け(カス抜け)がよいので掃除が簡単、また丈夫で、たばこの灰落しに叩いても変形しないと評判も良かった。このきせるは、第13代将軍・徳川家定

あつて、たばこのヤが口に入りにくく、何よりも灰抜け(カス抜け)がよいので掃除が簡単、また丈夫で、たばこの灰落しに叩いても変形しないと評判も良かった。このきせるは、第13代将軍・徳川家定

あつて、たばこのヤが口に入りにくく、何よりも灰抜け(カス抜け)がよいので掃除が簡単、また丈夫で、たばこの灰落しに叩いても変形しないと評判も良かった。このきせるは、第13代将軍・徳川家定

たばこの出会い 23 太秦広隆

いつもは見かけない喫煙スペースに気づく。「へー、こんな分煙設備があるんだ」——これは私の通勤経路にあるたばこを扱っている酒屋さん。今回は、隣接するこの酒屋さんにコンサート主催者をお願いして設置したの。2台の駐車場の一面に3角のカラーコーンが6個置かれ、コーン間で囲った。その中に、パケツ型の「赤い吸い殻収集缶」が2個置かれていた。「お店の方が喫煙スペースを提供してくれているんだ、ありがとう。吸い殻の行方と灰皿の存在への感慨」

このように分煙設備を設置する方法もあつた。喫煙者として、主催者の好意や気遣いを思うと、感謝の気持ちを入れた。去つていった。

改正健康増進法が施行されて以降、路上喫煙禁止や公共施設敷地内禁煙が拡大している。公園禁煙化も急ぐ自治体が増加している。規制に圧迫されて息苦しさを感じているのは私だけではないでしょう。

一方、駅前等の喫煙所を何気なく利用している時、喫煙所清掃の方と出くわすことがある。吸い殻と水が混じった入れ物や、清掃の大変さに頭が下がる思いだ。清掃される方がいるから、気持ちよく喫煙できる。息苦しさから解放される瞬間である。

喫煙所の利用者や清掃している人は、ある種の「仲間だ」と意識することがある。人は、個々に孤立して居るのではなく、何らかのつながりや絆を欲し、つながりの中で自分を見出そうとしているのではないかと思う。

多様な価値観に「場」でのつながりや意識、他者とのつながりを充実させるようにしたい。

吸い殻の行方と灰皿の存在への感慨

吸い殻の行方と灰皿の存在への感慨

吸い殻をどう処分するのだろうかと思ふ。一服しながら二人に視線を送ると、道路向かいの最近完成した市の体育館に歩いていた。

きょうは日曜日。この体育館でコンサートが予定されており、開場は19時。この体育館はリニューアルされ、以前は入口脇に臨時に灰皿が

このように分煙設備を設置する方法もあつた。喫煙者として、主催者の好意や気遣いを思うと、感謝の気持ちを入れた。去つていった。

改正健康増進法が施行されて以降、路上喫煙禁止や公共施設敷地内禁煙が拡大している。公園禁煙化も急ぐ自治体が増加している。規制に圧迫されて息苦しさを感じているのは私だけではないでしょう。

一方、駅前等の喫煙所を何気なく利用している時、喫煙所清掃の方と出くわすことがある。吸い殻と水が混じった入れ物や、清掃の大変さに頭が下がる思いだ。清掃される方がいるから、気持ちよく喫煙できる。息苦しさから解放される瞬間である。

喫煙所の利用者や清掃している人は、ある種の「仲間だ」と意識することがある。人は、個々に孤立して居るのではなく、何らかのつながりや絆を欲し、つながりの中で自分を見出そうとしているのではないかと思う。

多様な価値観に「場」でのつながりや意識、他者とのつながりを充実させるようにしたい。

『喫煙マナー』 ポスター

全組合員に配付

このほど全協では、喫煙マナーを啓発するポスターを全組合員に配付した。

これは、JTが取り組んでいる「吸われる方自身がマナーの大切さに気づき、考え、行動、していただけるように、誰もが思い当たる身近な喫煙マナーに関するシーンやテーマ」を、数多くのイラスト

で紹介、こうしたマナー広告を通じて、「周囲の方々への気配りや思いやりを示していただけるよう、たばこを吸われる方々へお願いするため、身近にあるさまざまな喫煙シーンを、季節に合わせたモチーフなどを使い表現し、さまざまな形で掲出している活動」に協力することで、たばこ販売店から「喫煙マナー啓発」を訴求していくもの。

全協では、このポスターを出来る限り目立つ場所に掲出し、喫煙マナーを強くアピールして欲しいとしている。



全組合員に配付したマナーポスター



浜松市の松本康夫市議会議員(中央)のラジオ番組に出演する浜松組合の石原央理事長(右)

は、浜松市議会の市議会議員が週替わりの番組に出演した。約15分間の出演は、たばこ組合の活動や役割などを、わたって聴取者に語り掛けた。この番組は、浜松市議会の市議会議員が週替わりで出演し、市議会への素朴な疑問や要望を伺い、浜松市に分かりやすく伝えていく「市議会」の一角から放送された浜松エ

「たばこ」組合をアピール ラジオ番組で

2月18日午後7時12分から、JR浜松駅付近の「ソラモ広場」の一角から放送された浜松エ

組合員 限定

新型たばこ自販機組合員限定販売

全協から組合員の皆様に、運転免許証・マイナンバーカードで、たばこが購入できる新型たばこ自販機の組合員限定販売のお知らせです。昨年の新型たばこ自販機追加募集では、多くの組合員様からご注文をいただきましたが、締切以降も継続して、多くの組合員様から注文のご要望をいただいている状況です。

そのご要望にお応えするために、2026年3月末のtaspo終了までの間、新型たばこ自販機をいつでもご注文いただける、組合員限定キャンペーンを実施することと致します。

新型たばこ自販機のご購入を希望される組合員様は、ご所属の連合会までお問い合わせをお願いします。

管轄都道府県	連合会名	TEL
北海道	北海道連合会	011-611-4046
宮城県、岩手県、青森県、山形県、秋田県	東北連合会	022-268-3641
福島県	福島県連合会	024-922-2563
茨城県	茨城県連合会	029-305-4010
栃木県	栃木県連合会	028-633-6931
群馬県、長野県、新潟県	上信越連合会	027-323-6464
埼玉県	埼玉県連合会	048-667-0881
千葉県	新千葉県連合会	043-255-0365
東京都	東京都連合会	03-3453-6346
神奈川県	神奈川県連合会	045-253-2040
山梨県	山梨県連合会	055-224-5806
石川県、福井県、富山県	北陸連合会	076-231-6716
愛知県、三重県、静岡県、岐阜県	東海連合会	052-339-3451
大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県	関西連合会	06-6632-8671
岡山県、鳥取県	東中国連合会	086-226-5616
広島県、山口県、島根県	中国連合会	082-243-3895
徳島県、高知県	南四国連合会	088-652-0502
香川県、愛媛県	四国連合会	087-821-6753
福岡県、長崎県、佐賀県	九州北部連合会	092-260-3366
熊本県、大分県	九州中部連合会	096-352-0504
鹿児島県、宮崎県	九州南部連合会	099-254-0653

注文受付期間
2025年4月1日(火)～2026年3月31日(火)

上記期間中は、いつでも申込が可能です。
連合会へご連絡後、案内資料を送付いたします。
※設置目安月は、お申し込みから約半年後となります。

新型自販機おすすめポイント

- ◆ taspoカードを持っていないお客様も、たばこの購入が可能
- ◆ taspo終了後も、引き続きたばこを販売できる自販機
- ◆ 運転免許証かマイナンバーカードで年齢識別後、購入可能
- ◆ 新1000円札、新500円硬貨も使用可能

●4月末に送付予定のDMIに、本キャンペーン情報のご案内も同封しますので、併せてご確認ください。

数独(1から9までの数字を入れます)

今月号のクイズは、数独(9文字数独)です。タテの9マス・ヨコの9マスとして、青い線で囲んだ9マスには、1から9までの数字が入ります。ただし、タテ・ヨコ、青い線で囲んだ9マスには、同じ数字は入りません。すべてのマス目に1から9までの数字を入れ、AからEに入る数字の合計がいくつになるか、答えてください。

			5		9			
1	A	9	6		3	2	D	4
3	7	6				9	5	1
7		5	2		1	4		8
6		1	8	B	4	7		5
4	8	3			7	1		6
5	1	3				6	4	9
9	E	4	1		5	8	C	2
			9		6			

答 = A+B+C+D+E = ?

★正解者の方から抽選で10名様に3000円のクオカードをプレゼント!

【応募方法】
ハガキに4月号と記入の上、答え、住所、氏名、年齢、電話、所属組合、今月号の「興味のある記事」と「興味のない記事」を明記してお送りください。締め切りは2025年5月5日(当日消印有効)。当選者と正解の発表は本紙2025年6月号です。

【クイズ・お便りコーナー応募先】
〒105-0014 東京都港区芝1-6-10 芝SIAビル7階
全国たばこ新聞「クイズ」係 (☎03-3432-8346)

2月号クイズの正解と当選者

- 正解 23
 - 当選者(敬称略)
 - 小池 繁(秋田県)
 - 竹内 吉宏(北海道)
 - 田邊 芳夫(東京都)
 - 山田 紀子(新潟県)
 - 中村 隆子(石川県)
 - 守屋 雅美(香川県)
 - 小池 繁(秋田県)
 - 森山 仁子(神奈川県)
 - 長太郎(大阪府)
 - エミ子(広島県)
 - 原田 三子(福岡県)
 - 高尾 広子(福岡県)
- 以上10名の方が当選いたしました。おめでとうございます。

先人の言葉 36

人間は物質生活を通じて精神生活を送っています。即ち、物質と精神の二つの世界に生きているのです。物質が豊かでも精神が安定していなければ幸せではなく、精神が安定していても物質が乏しければ生活が危うくなります。松下幸之助はこのことを、「両者は車の両輪のごとき存在であり」、「人間生活は精神的安心と、物質の豊富さによってその幸福が維持され向上が続けられるのである。そのつを欠いてもならない」と語っています。

また松下は、「人と共に生きていくからには、お互いのつなかりを正しく守ることが人間としては、さるに二層重要である。情け

「人間生活の安定」

▼松下幸之助

何か、またかけられてお互いに義理を感じ、もろともに生きることを感謝し合う気持ち、人倫をふみ行なう基である」とも述べています。

「人は唯一人のみにては抱くことに通じます。また伊達政宗は、「此世に客に来たと思えば何の苦もなし。朝夕の食事はうまからずとも褒めて食べよ。元米客の身なれば好嫌は申されまじ」とい

が苦を生ぜしめることに鑑み、勇猛心をもって己を思ふ一念を滅却すべしと説きました。

とによって人間生活が成り立つのです。人道とは、天道に人力の力を加える生産活動です。その根柢には自然の営みの中に人が住まわされていくという謙虚さが流れています。したがって生産活動には自然からの収奪という発想は生まれてきません。人身に有用なものを自然の恵みの中

何事もなしうるものでない。国家社会の助けによつて自らも利し、安全に生存するも出来る」と述べています。出来心や見栄による慈善といった誠実さを欠く行為は、却つて悪人を造る事になりがちであるとの警告もしています。

実業家の仕事は主として物質に関わることで、当然、精神面にも社

然のままの活動、即ち自然現象を指す天道は、自然の恵みを人間にもたらす徳をもつています。したがって、天には善悪がないために、稲と雑草を同時に茂らし、放置すれば田畑が荒れてしまいます。方、人道は人身に便利なるものを善とし、不便なるものを悪と区別します。このため、天道に人道が加わるこ

「人道は天道に従うといえども、また人為なり、人道を尽くして天道に任ず」ことで生活の安定が得られるのです。

(飛鳥山 望)

江戸の世を彩る川柳評 18

谷 匡輔

前回で紹介したように、江戸川柳では遊治郎と呼ばれた着飾った道楽者、いわゆる「銀ぎせる」と決まっていた。きせるの雁首と吸口の部分、あるいは羅字の部分も含む全体を銀で作った高級なきせるである。江戸の中流以上の家庭に育った息子たち、初めは「四書五経」の素読などに勤しんで、年ごろともなれば色気も出てきて、気分が何となくモヤモヤとしてくる。そこで「四書五経」を放り出して、江戸の吉原遊廓の案内書で有名な「吉原細見」などをぞき見たりする。やがて、細見を眺めているだけで物足りなくなり、実践に及ぶようになり、つまでも、おとなしく「四

吉原とたばこ

初めは「四書五経」の素読などに勤しんで、年ごろともなれば色気も出てきて、気分が何となくモヤモヤとしてくる。そこで「四書五経」を放り出して、江戸の吉原遊廓の案内書で有名な「吉原細見」などをぞき見たりする。やがて、細見を眺めているだけで物足りなくなり、実践に及ぶようになり、つまでも、おとなしく「四

親父様。一方で、母親は息子に甘かったようで、「母ばかり銀で呑むのを知っている」とか「そのきせるめうかなよと母は言い」という句が拾える。

投稿

組合支部事務局の二員として、様々な組合業務を行いながら、組合員みなさまの活動などをお手伝いしております。そう

ました中で、ふと、思いついたことがありまして、述べてさせていただきます。

たばこ販売店から防災対策発信を

それは、近年、多発している地震や津波、風水害などの災害対策についてです。地震は予知ができませんが、風水害などはある程度予測ができ

ます。そこで、地域に根ざしている「たばこ販売店のみならず、台風の集中豪雨などの防災対策について、お客様に発信するようなシステムができればと考えてい

「遠藤和子さんは、福島県いわき市の内郷女性消防クラブの隊長として活躍しています。また、内郷女性消防クラブは、去る2月21日に総務省消防庁主催の第29回防災まちづくり大賞の総務大臣表彰を受賞しました」

たばこ屋さんからの投稿

たばこ屋を続けていて「楽しく嬉しかったこと」

たばこ屋を長年続けていて「楽しく嬉しかったこと」は、沢山あります。たばこ屋冥利に尽きますので、その中のいくつかを紹介したいと思います。

その① 自販機を設置したことです。50年も前のことですが、当時はほとんど毎日、朝6時から夜10時まで店を開けていました。自販機で朝はともかく、夜は早めに店を開かれ、日曜日も休めるようになり、最高に嬉しかったです。

その② 有名な人の来店。まず、俳優の中尾彬さん。「ラーク、ワンカーン、ワンカーン」との、あの声は、今も耳に残っています。

その③ 全国たばこ新聞の方が私の店に取材に来てくださり、紙面で紹介されたこと。大変嬉しかったですね。

その④ 3年ほど定期的にワンカートンずつ買ってくださるお客様が「転勤になりましたので……」と言われ、その時の思いを趣味の短歌に託して投稿したところ、入選になったことです。

まだまだ沢山ありますが、このあたりで止めておきます。嫁に来た時、義母が2代目のたばこ屋でした。会社員を辞めて店を継いだ主人が3代目、そして私が4代目です。開業110年を超えます。お店です。あと少し頑張ります。

(山口県平田勝子)

投稿



38年前の姫路組合婦人部(現・女性部)発足時の記念写真

セピア色の写真——今から38年前の1987年に私どもの姫路組合婦人部(現・女性部)が発足し、その記念に当時の日本たばこ産業姫路支店、姫路市役所J.Rの協力により、姫路城をバックに婦人部のみなさんが「今、誓いも新た」——姫路組合女性部の記念写真を見守っています。

本当初めにユネスコ世界文化遺産に登録され、今では国内外からの観光客でにぎわっていますが、訪れた観光客のみなさんに「お楽しみください」との声をかけたい」との誓いを新たにしています。

(河原順子)

組合員の皆さまへ

大正製薬(株)のリポビタンDをお店で販売していません。

指定医薬部外品
肉体的疲労時の栄養補給、滋養強壮に。

お問い合わせは所属の組合まで。

リポビタンD

(株)全日本たばこ販売センター

投稿募集

読者のみなさまからの投稿を募集しています。みなさん、奮ってご応募ください。

- ◆ 字数:400字以内(メモ書きでもOKです)。
- ◆ 募集対象:たばこ組合員・組合職員及びご家族・たばこ関係者。

【住所、氏名、年齢、電話番号などを忘れず(明記=分かりやすい字でお願いします)】

- ◆ 締め切り:特になし。いつでも投稿OK。
- ◆ 募集方法:手紙、FAXなど
- ◆ 掲載された作品の筆者には粗品を進呈

■ 投稿・問い合わせ先
住所:〒105-0004 東京都港区新橋6-9-2 新橋第1ビル (株)アーネスト 投稿募集係
電話:03(3432)8346
FAX:03(3432)8347

4月のP.O.Pの作り方

カラーコピーでPOPを作ってみましょう。

● カラーコピーで拡大して簡単にPOPを作ってみましょう!
お近くのカラーコピーで拡大コピーをプリントして、厚紙に貼り、切り抜きます。(コピーの拡大プリントでわからない点はお店で相談してみてください。)

↓ この点線内を200% (A4サイズ)に拡大コピーします。

用意する道具: ハサミ、スティックのり(太めサイズ)またはスプレーのり、工作用ボンド、定規、カッター

用意する材料: ケント紙(厚口紙)A4サイズ1枚、ダンボール5×6cm位

作り方と陳列

スタンドを裏面に接着

お知らせ
キヤメルクラブ
定価改定
430円 → 450円
ご予約受付中!

ダンボール 3~4枚ではさみ、浮かせて接着

立ち上げる際はスタンドで確認してください

※店頭の目につく場所に置きましょう

Design: イサ・デザイン